

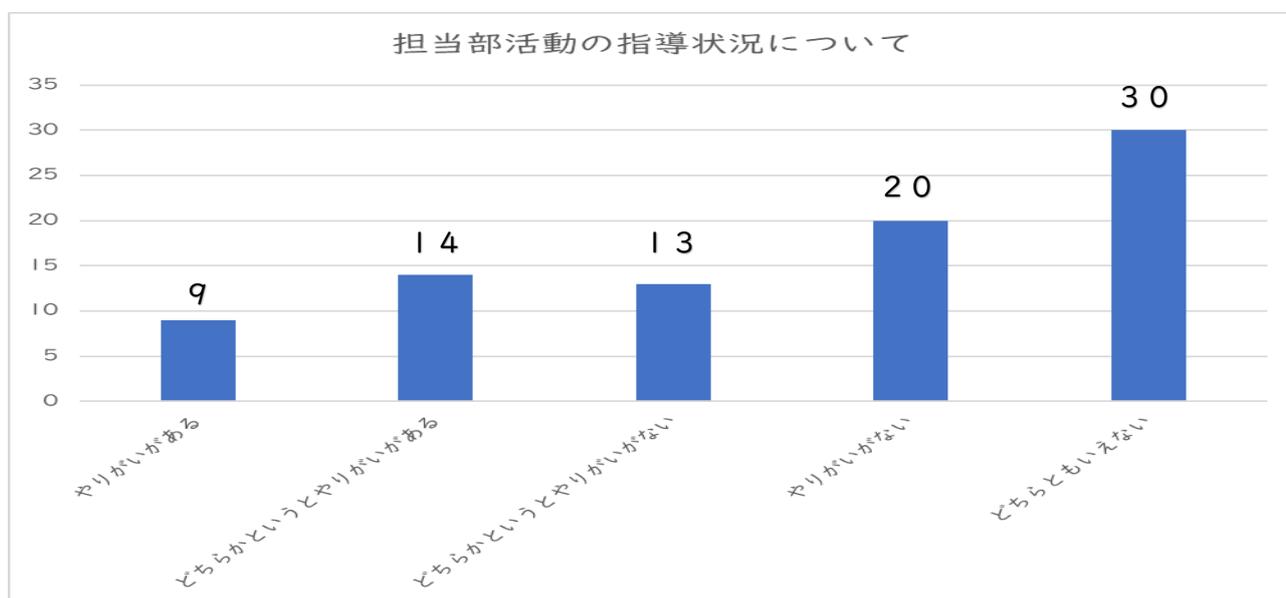
部活動地域展開におけるアンケート【教職員】

別紙2-3

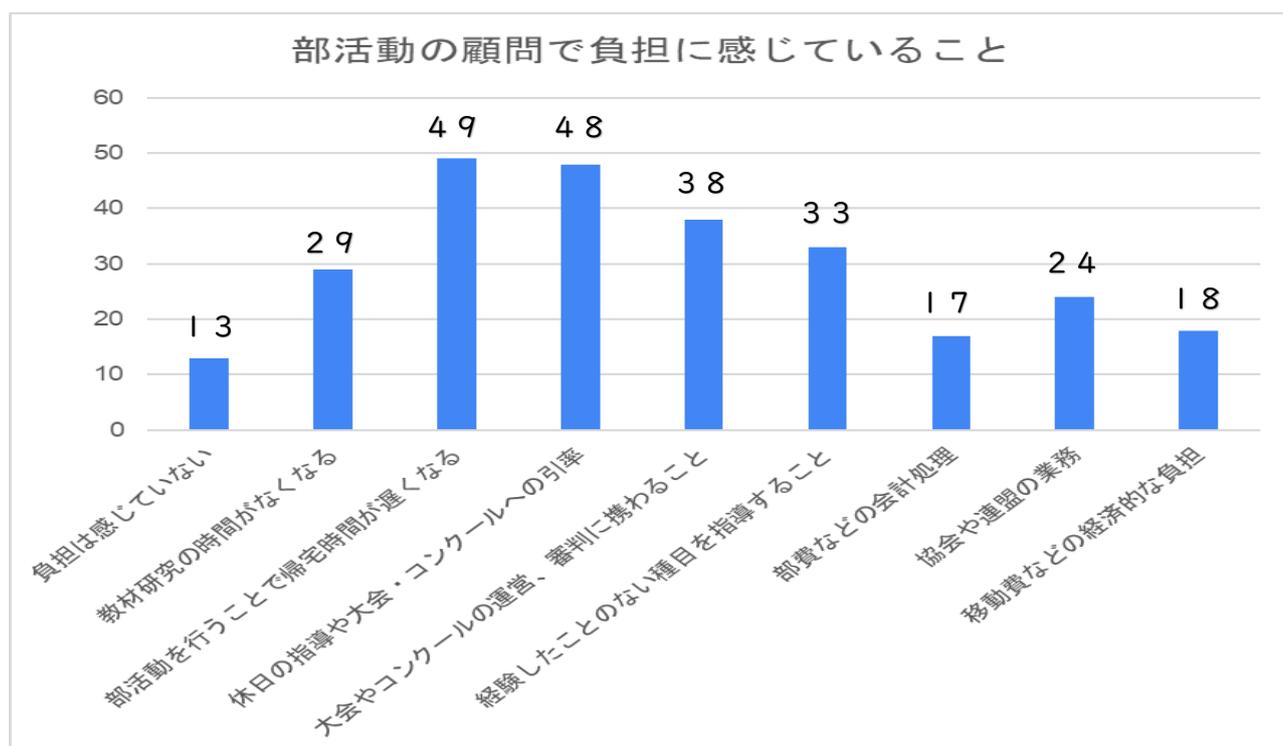
【実施期間】 令和8年2月4日（水）～16日（月）

【回答数】 **263人**

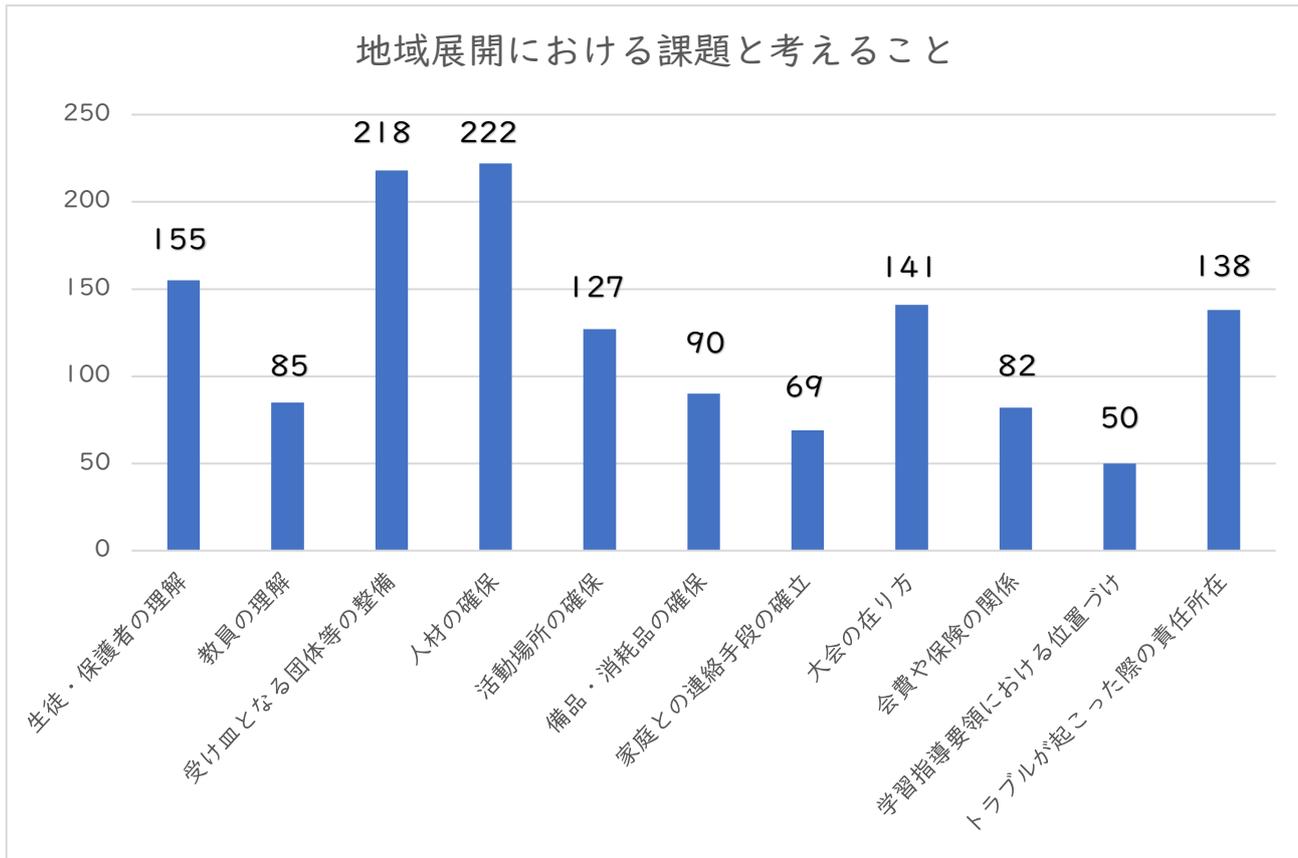
- 勤務校を選択してください。(263人)
小学校・・・65.8% (173人)
中学校・・・34.2% (90人)
- 担当している部活動は何ですか。(休日合同クラブ・バンドを含む)
運動部・・・25.5% (67人)
文化部・・・7.2% (19人)
担当なし・・・67.3% (177人)
- あなたの指導状況について教えてください。(86人)



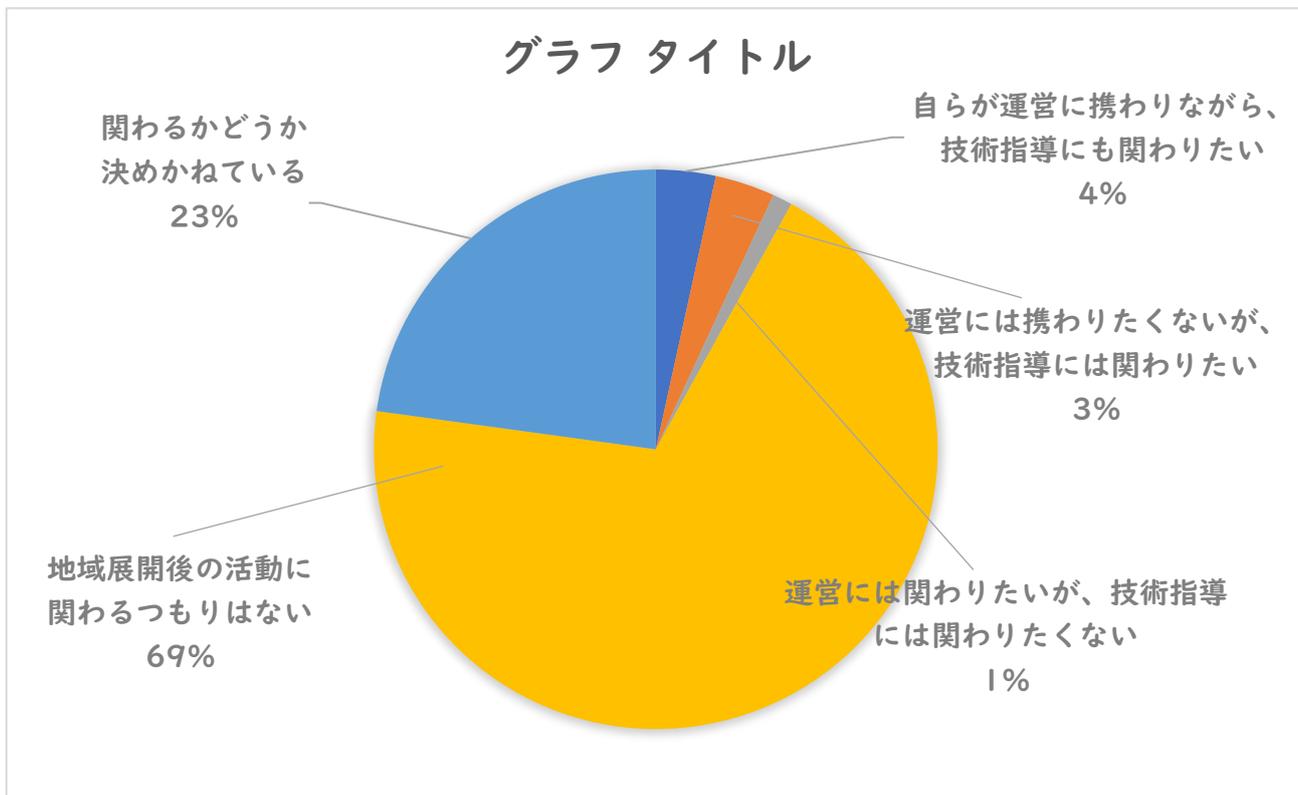
- 部活動の顧問をしている中で、どのようなことが負担に感じますか。(複数回答可)



5 地域展開に向けて解決すべき課題は何だと考えますか。(複数回答可)



6 部活動の地域展開がされた場合、あなたは地域の受け皿として指導に関わりたいですか。(263 人)



7 部活動を地域へ展開した後の指導に関わる上で課題になると考えることは何ですか。(自由記述)

| |
|--|
| 「教員」という立場から離れての指導にはなるが、保護者も生徒も「教員」として指導を求めてくる可能性がある。その線引きが教員と保護者・生徒ともに難しいと思う。 |
| 大会の引率などの旅費や保険の費用をどこが負担するか、トラブルや何か困りごとがあった時にどこに問い合わせればよいか分かるようにする。 |
| 他校の生徒とのつながりが大きくなり、問題行動が発生した場合、学校間の調整や共通理解をしていかなければならない。 複数校が集まったの地域クラブなので、人間関係等の問題が生じた場合、子どもたちの現状を把握している大人がいない中での運営・指導は難しい。 |
| 中小体の出場方法について、1チームしか出場できない場合、出場できる生徒数が減少してしまう。生徒の大会出場の機会を保證することができるとよい。 |
| 地域クラブも制限が多くあり、思うような運営・指導ができるか心配である。クラブチームでの自由度が高いように感じる。 |
| 大会運営をする際、今の形を維持しようとする大きな課題が出てくる。 |
| 受け皿となる団体が見つからなかった場合、部をなくすという選択も必要。 |
| 指導の質と安全性の確保や学校との連携・情報共有の難しさについては課題にあがっていると思うが、長期的な面で、指導者の確保と継続性、安定した運営状況が維持されるかが課題となる。 |
| ①現在の部活動指導手当より安い報酬で従事する可能性。 ②指導のみと聞いていたのにいろいろな業務を任される可能性。 ③大会運営を強制的に協力させられる可能性。 |

8 その他、部活動の地域展開に関する意見等(自由記述)

| |
|--|
| 種目によっても受け皿の状況に大きく差があるので、市町を越えて連携をとり、多くの生徒がチームに所属できる環境を整えてほしい。 |
| 指導者側で時間や場所を調整できるようにしてほしい。 |
| 休日に出勤しなければならない教員とそうでない教員がいることに不平等を感じている。校務分掌とバランスを取るなど業務内容に偏りがないようにすることも必要だ。 |
| 合同クラブで大会に出場しているのに、各学校で違う指導者が平日の部活動に携わっている。運動部であれば大会や試合で勝ちたいと思って練習に取り組むので、モチベーションを維持していくのは難しいと感じている。平日の部活動はどうなっていくのか。 |
| 兼業で卓球を指導している。公認コーチ資格を取得したり、学校外の卓球関係の方々と関わる中で今まで知らなかったことを学んだりし、感謝している。ただ、現場ではあまり理解されていない。 |
| 犬山市は他市町と比較すると先行しているため、生徒や保護者は他の市町と比較してしまかなか理解が得られない状況もある。 |
| 学校・地域・自治体の役割分担の明確化と浸透。責任の所在が不明確な状況が生まれることが心配。事故対応やトラブル発生時に混乱を招く恐れがあり、指導・安全管理・保護者対応などについて、共通理解を持てる体制づくりが必要だと考える。 |
| 「地域の子どもは地域で育てていく」という地域の方の当事者意識の育成が大切だと思う。そのためにも、地域と子どもがつながることは大変よいことだと思う。まずは部活から始まり、いろいろなことで地域が教育に関わっていくとよいと思う。 |
| 地域クラブで参加した大会結果について、学校での表彰、要録や進路の調査書への記載をどのように行うのか、学校単位で決めるのではなく、ある程度統一した形で行っていくとよい。 |